

YES BANKへの出資について

2025年5月9日

出資の概要とポイント

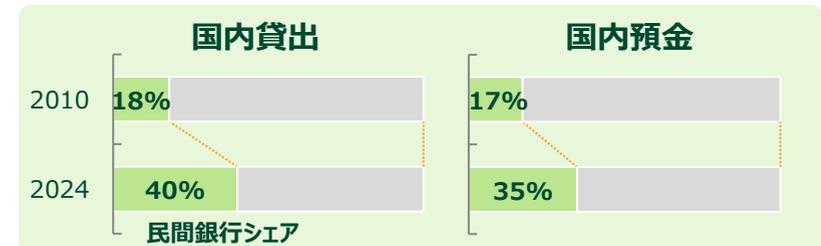
- ◆ インドの商業銀行YES BANK Limited（以下、YES BANK）の発行済普通株式20%をSMBCが取得する契約を締結*1
- ◆ 取得価格は1,348億ルピー（約2,400億円、PBR1.4倍）で、出資後5年目にROE10%超を想定
- ◆ 非執行取締役を2名派遣し、SMFGおよびSMBCの持分法適用会社化を想定

① インド商業銀行ビジネスの成長ポテンシャル

- フィーブールは10年間で**2.5倍の成長**を見込む*2



- 国営銀行から民間銀行へのシェアシフトが着実に進展



② ミッシングピースを埋める稀有な投資機会

- マルチフランチャイズ戦略の**最後のミッシングピース**であったインドにおける商業銀行ビジネスに参入
- YES BANKは民間6位の大手商業銀行であり、本件により、インドにおける全セグメントのカバーが実現
- 外資金融機関によるこの規模の出資は、極めて**稀有なケース**

③ ディシプリンの利いた価格交渉

- ディシプリンを以て価格交渉を実施し、取引価格に合意（**PBR1.4倍**、のれん略700億円を計上予定）
- 5年目に**投資ROE10%超**を想定
- CET1比率影響は▲24bps

マルチフランチャイズ戦略の全体像

Plan for
Fulfilled Growth

インドの商業銀行ビジネスは、マルチフランチャイズ戦略における最後のミッシングピース
 今後は出資先の収益化に注力し、対象国の拡大や新規ビジネスへの出資は予定せず





インド民間6位の総資産と
1,200超の支店網を抱える大手商業銀行

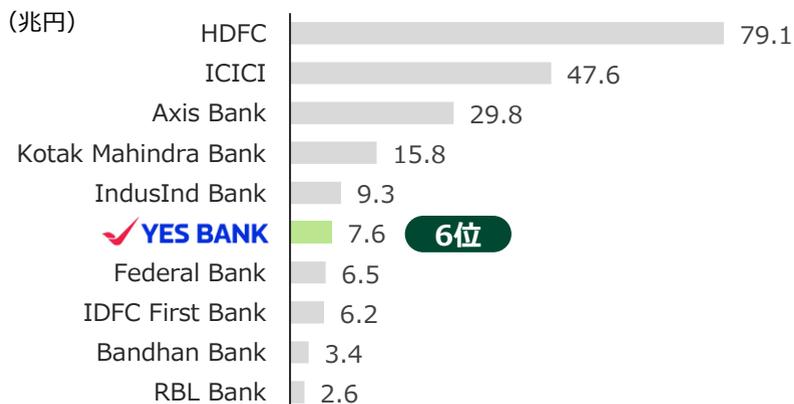
力強いターンアラウンドストーリーから
成長フェーズへ

成長著しい中堅・中小企業やリテールを中心に
バランスの取れた事業ポートフォリオ

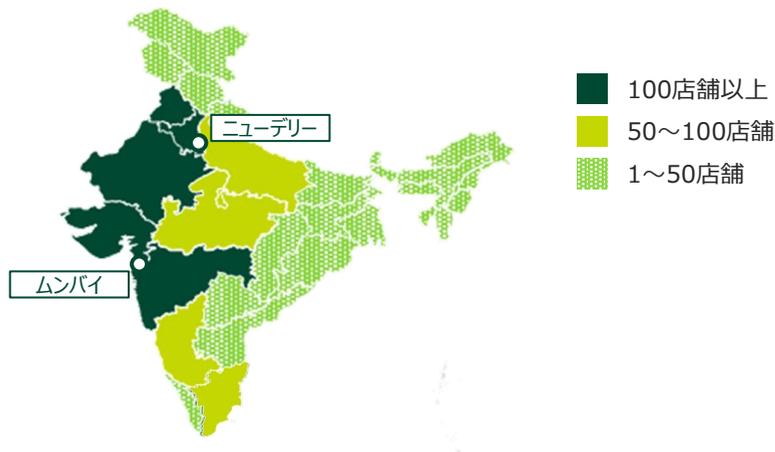
デジタル領域とフィジカル店舗のハイブリッド
マーケティングを通じた力強い預金成長

民間6位の総資産と1,200超の支店網

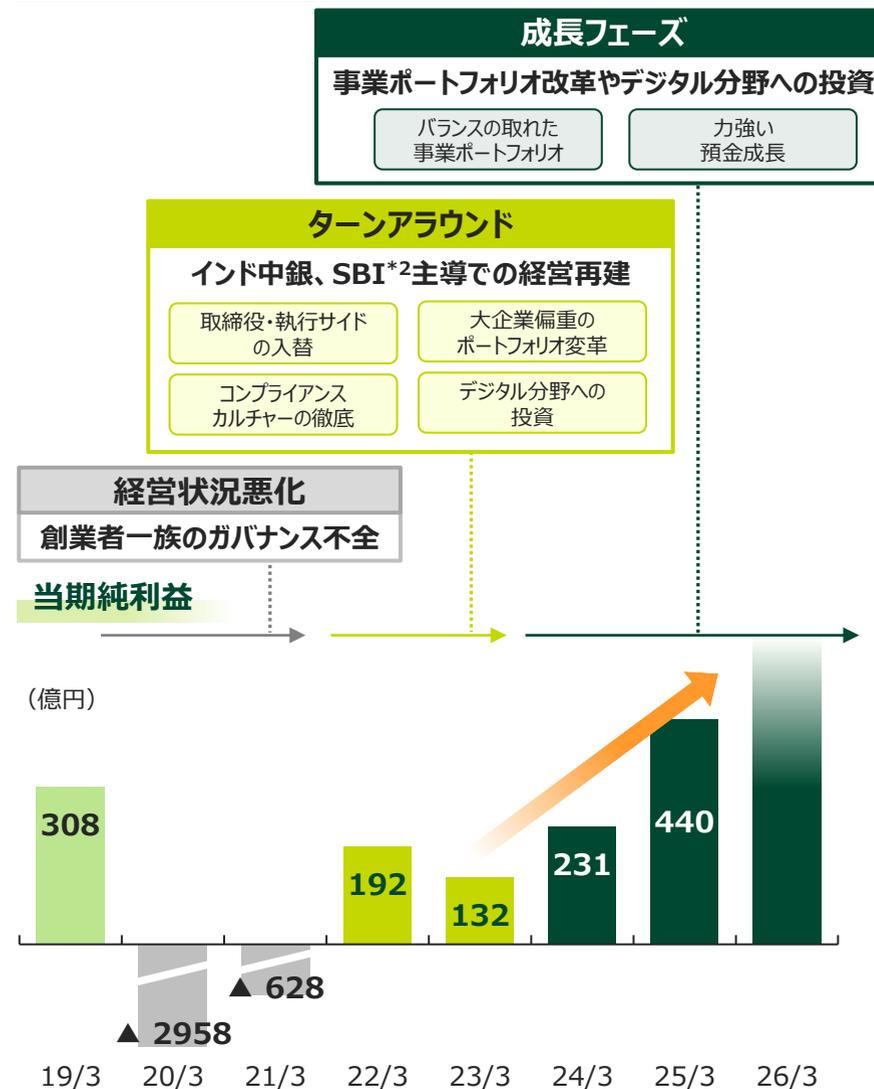
民間第6位の資産規模*1



インド全土に広がる1,200超の支店ネットワーク



力強いターンアラウンドから成長フェーズへ



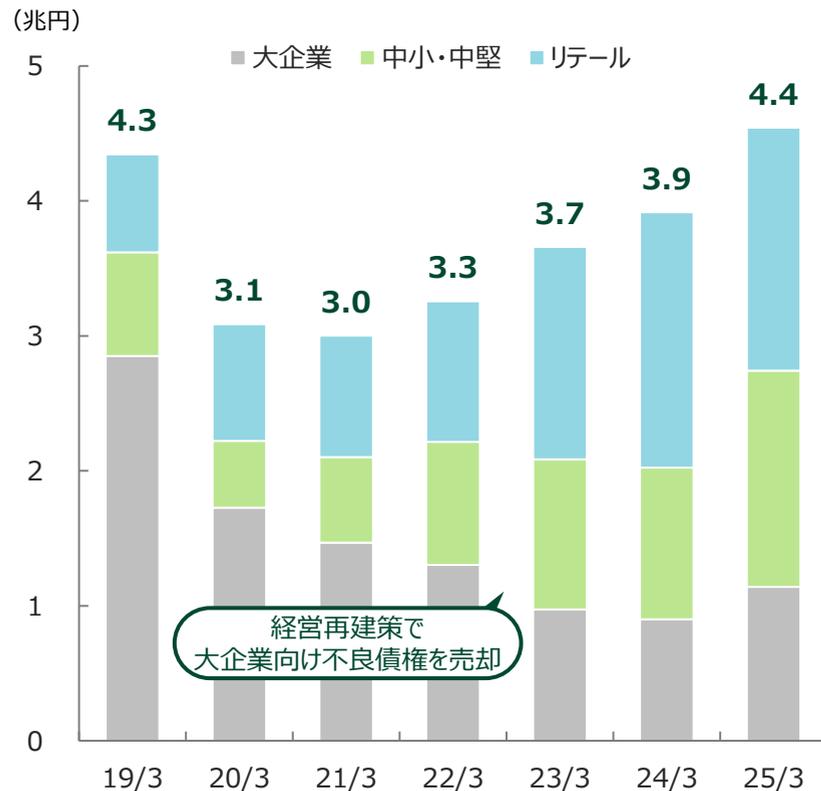
*1 2025/3末時点 (IndusIndのみ2024/3末時点) 為替レートはINR/JPY=1.80を適用 *2 State Bank of India

YES BANKの特徴・強み

■ バランスの取れた事業ポートフォリオ

- 大企業偏重のビジネスモデルから、中堅中小・リテールビジネス強化を通じ、バランスの取れた事業ポートフォリオに変革

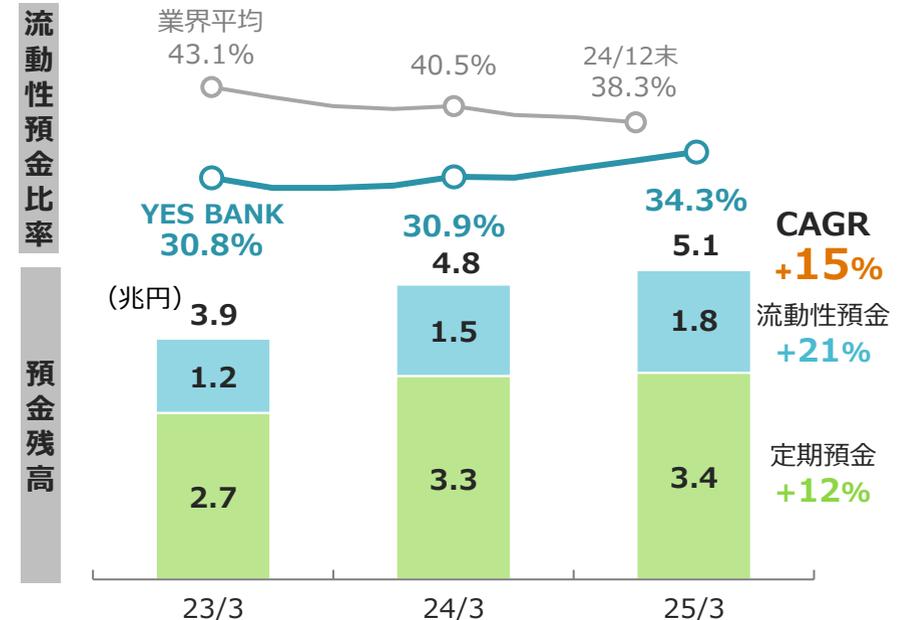
貸出金残高



NPL比率	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3
	3.2%	16.8%	15.4%	13.9%	2.2%	1.7%	1.7%

■ 力強い預金成長

- デジタル領域に強みを持ち、リアル店舗とのハイブリッド戦略で高い預金成長率と流動性預金比率改善を同時に実現



リテール スーパーアプリ



- 若年層をターゲットに250以上の機能を搭載
シンプルなUI上で高度なパーソナライゼーションが可能
- ローンチから16か月で登録ユーザー340万人
到達と急成長中（23/8-24/12）

(参考) YES BANK概要

Plan for
Fulfilled Growth

基本情報

会社名	YES BANK Limited	
上場	ムンバイ証券取引所上場（時価総額約 1 兆円）	
格付	Moody's Ba3	
設立	2003年	
子会社	YES Securities (India) Limited（証券業務）	
代表者	Mr. Prashant Kumar (MD & CEO)	
従業員数	28,687名（2025年3月末）	
拠点	インド国内に1,200店超の全国的ネットワーク	
主要株主 *1	State Bank of India	24.0%
	Verventa Holdings	9.2%
	CA Basque Investments	6.8%
	Life Insurance Corp of India	4.0%
	HDFC Bank	2.7%
	ICICI Bank Limited	2.4%
	Kotak Mahindra Bank Limited	1.2%
	Axis Bank Limited	1.0%

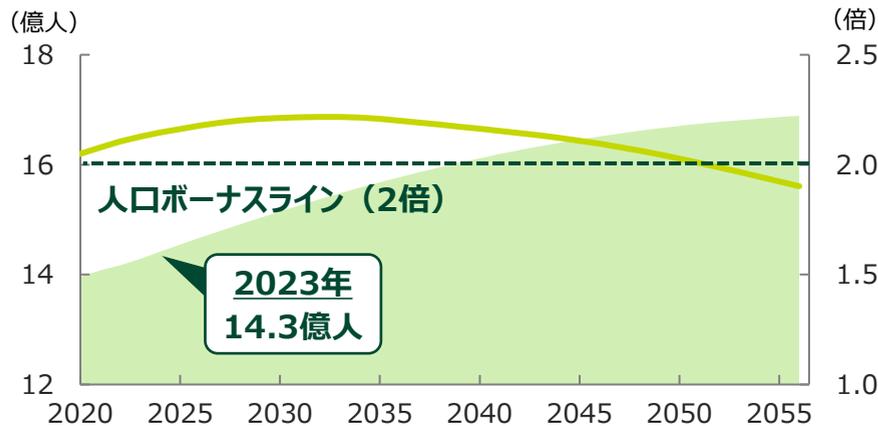
連結財務サマリ*2

(億円)	23/3期	24/3期	25/3期
業務粗利益	2,165	2,418	2,714
経費	▲1,589	▲1,802	▲1,938
業務純益	576	616	776
与信費用	▲444	▲340	▲195
当期純利益	132	231	440
総資産	63,937	73,145	76,340
貸出金	36,583	41,004	44,301
預金	39,129	47,921	51,196
ROA	0.2%	0.3%	0.6%
不良債権比率	2.2%	1.7%	1.7%
CET1比率	13.3%	12.2%	13.5%

(参考) インド市場の成長ポテンシャル

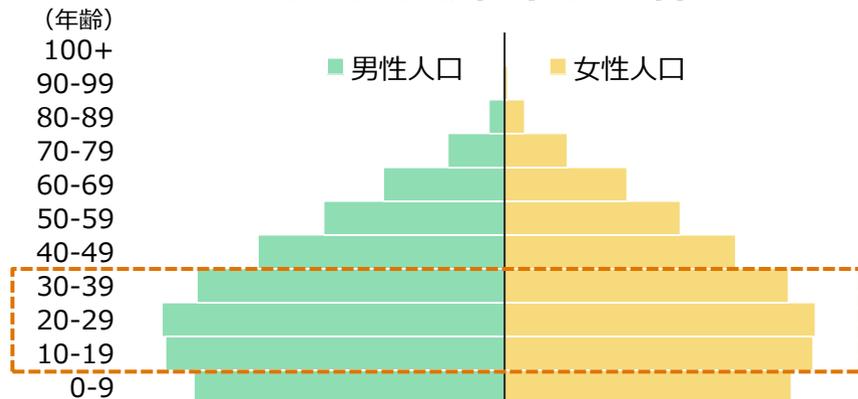
人口拡大が継続*1

人口ボーナス期も2050年まで継続

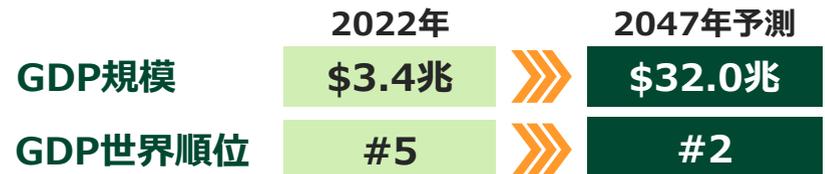


若年層が経済成長を牽引

人口ピラミッド (2023年) *1



GDPは世界2位の経済大国に*2

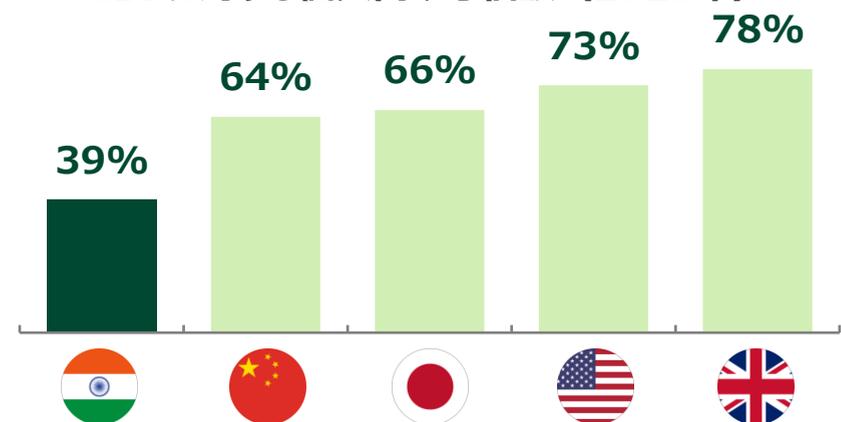


実質GDP成長率予測 (2026年) (%)



リテール分野における高い成長余力*3

GDPに対する個人向け与信額 (2023年)

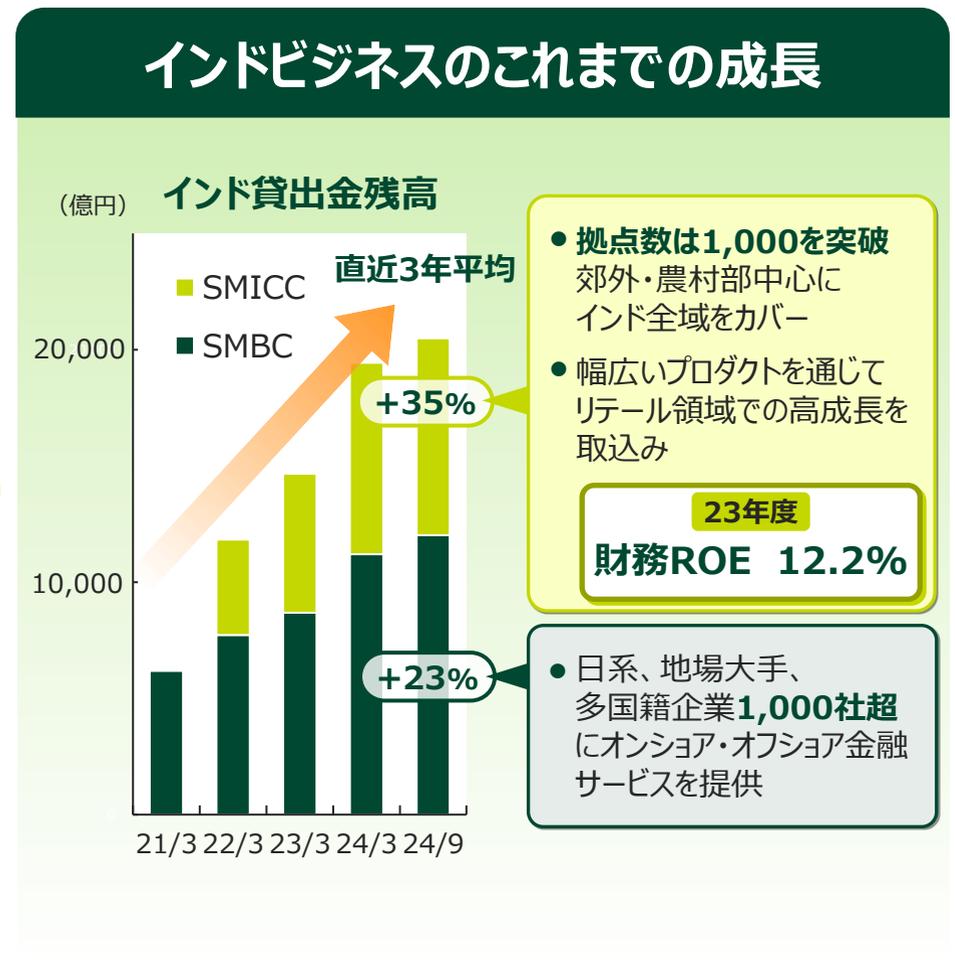
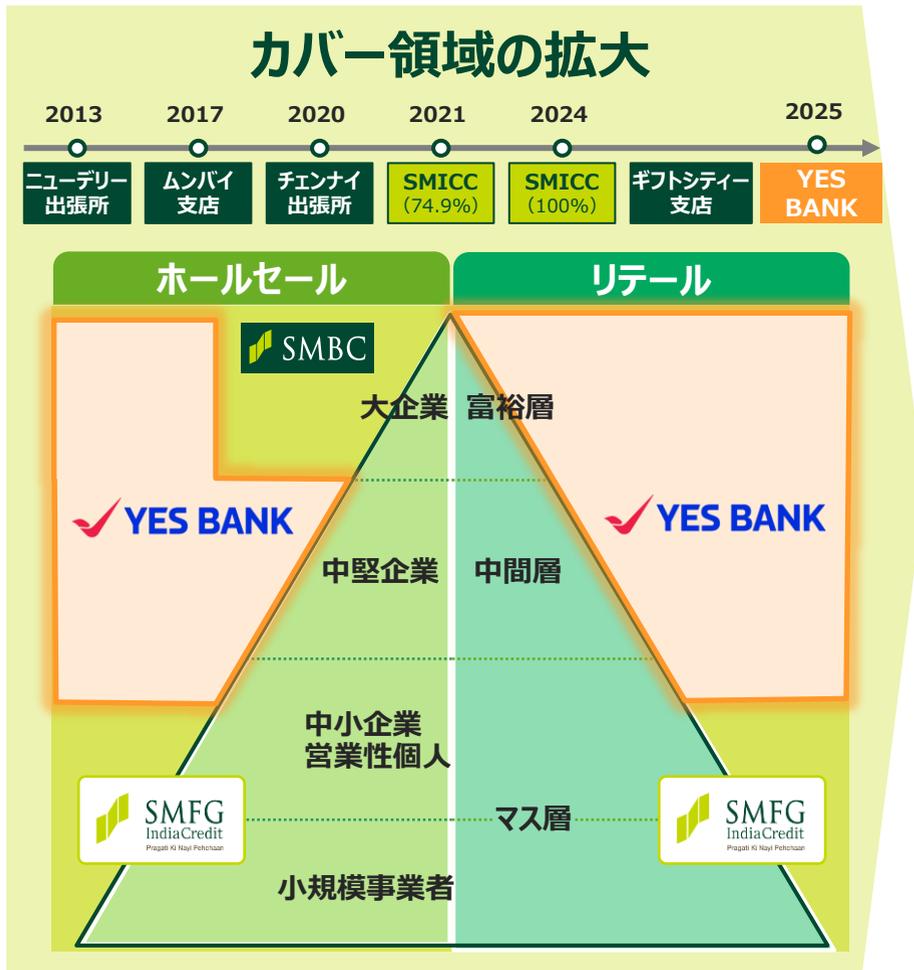


*1 出典：United Nations「World Population prospects 2024」

*2 出典：RBI databaseおよびIMF database

*3 出典：IMF database

(参考) インドにおけるSMBCの歩み





本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式に係るリスク、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。